



小山田大龍地区まちビジョン（案）

2024年6月26日

【経緯】

小山田大龍地区の「大龍地区」とは、「大沢地区」と「竜沢地区」を総称したもので、本地区は町田市の北部に広がる丘陵地に位置しています。西は都立小山田緑地、北は多摩ニュータウンに接しており、東には小野路宿が位置しています。南北に走る町田市道忠生 450 号線を中心に、谷戸や農地を擁した緑豊かな地区です。

住民生活に目を向けると、地区の大部分が市街化調整区域に指定され、市街化区域内にも生産緑地地区が多いことから、土地活用が図りにくく、統一感のある街並みの形成が難しい状況です。また、日用品などを揃えている店舗が無いことに加え、東西を連絡する道路が無い事や、バス等の公共交通基盤が脆弱である事も相まって、日常の買い物が困難な状況となっており、生活に支障をきたしています。近年では地区に元から住んでいる住人たちの高齢化が進行し、人材不足により山林、農地の荒廃がみられるようになりました。

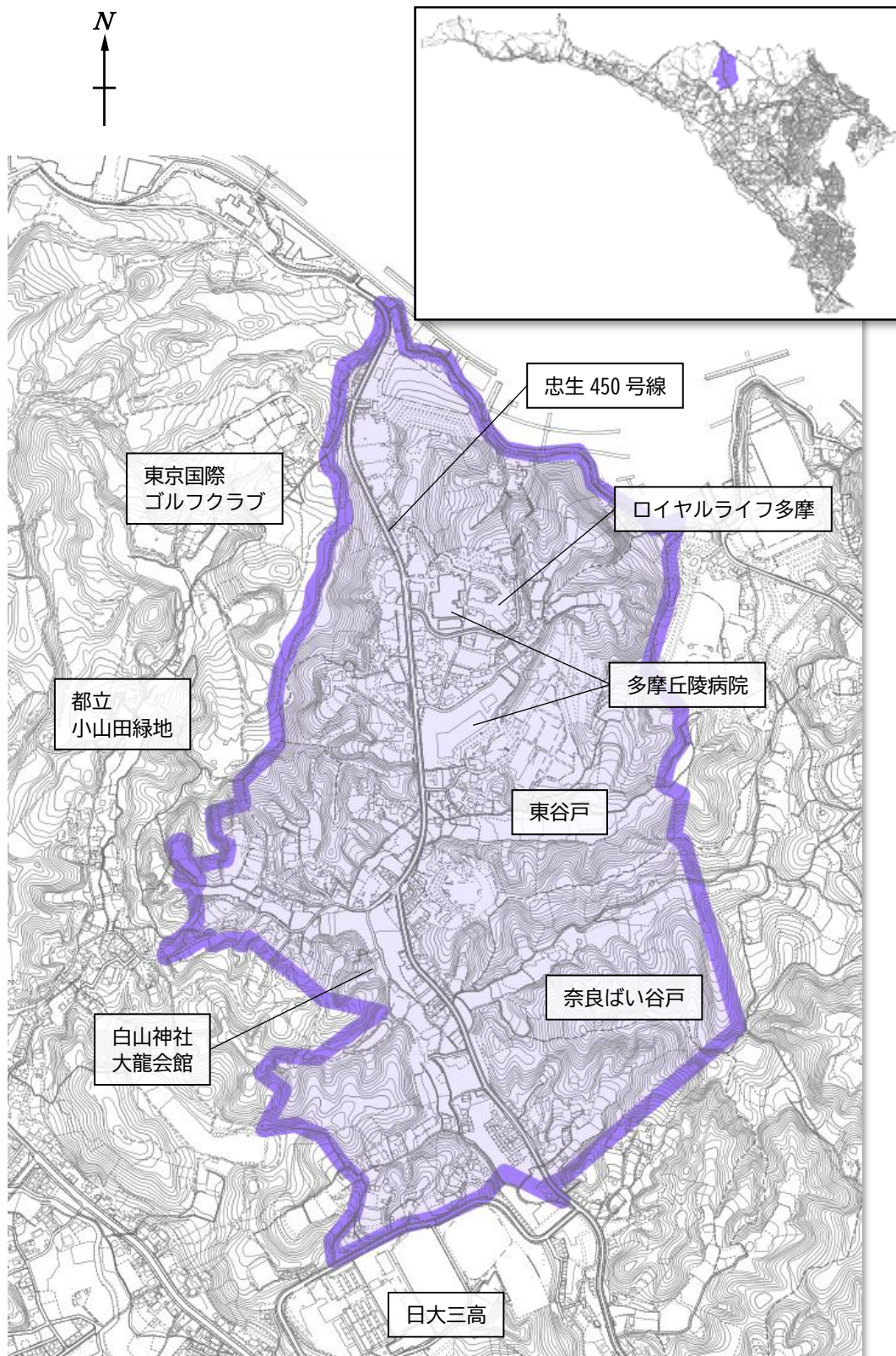
また、地区外から流入した新たな住人も見られますが、自治会の情報が伝わらないなど、つながりが十分に持てない状況になっています。

そのような中、地区内に多摩都市モノレールの延伸が計画された事からモノレール駅を中心としたまちづくり機運が高まり「大龍地区街づくりを考える会」が立ち上がり、検討を始めました。

しかし、モノレールルートの検討において、基本的なルート案として、当地区を通らないルート案が選定されたため、今までの経緯を踏まえながら、地区住民が将来にわたり住み続けられ、孫子の代まで継承できる地区を実現するため「小山田大龍地区まちビジョン」を定めることとしました。

【区域】

町田市下小山田町の一部及び小野路町の一部



【目標】

地域の行事や里山などの活用を通して、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地区の魅力を向上させ、安心して暮らし続けられ、次世代に受け継ぐことができる地区を目指します。

【方針】

- ① 伝統的なお祭りや歴史的遺物などといった地域資源の発掘や活用を通じて、地域コミュニティの活性化と、地元愛の醸成を促し、地域を次世代へ継承します。



白山神社 秋の例祭



東谷戸内の祠

- ② 地区内にある谷戸の農地や竹林などを資源と捉え、これを守り育てることで、良好な里山景観の醸成を図り、継続的な活動により地区の魅力を向上させます。



奈良ばい谷戸



東谷戸の竹林

- ③ 地区内で活動する多くの法人や団体は、地区の特徴を理解し、目標を持って活動しています。これらの法人や団体との相互理解を深め、地区内連携を図ることで、地区の魅力の向上を促進するとともに、顔の見える関係を作り出すことで、災害時などでも安心できる地域作りを進めます。



奈良ばい谷戸での NPO 法人の活動



地区内の事業者（多摩丘陵病院）

【具体的な取り組み】

- A. 既にある地域の行事（お祭り等）を地区内に発信
・だんご焼き、白山神社の祭礼などの運営と周知の実施



だんご焼き



白山神社の例祭

B. 地区内にある新たな資源や埋もれた資源の発掘

- ・東谷戸の竹林の整備と、筍掘り・竹炭・竹細工作りといったイベントの開催や収穫物の販売の実施
- ・耕作放棄地の活用についての検討
- ・地域に点在する塚や祠などの歴史的遺物（塚や祠など）の再認識と、案内表示やガイドマップなどによる周知の実施



竹林の整備



東谷戸の竹林



耕作放棄地の確認



地区内の祠

C. 地区に関係する法人・事業者との連携（イベントへの相互参加等）

<法人等の例>

- ・ NPO 法人「まちだ結の里」
- ・ NPO 法人「プラス」
- ・ 大谷里山農園
- ・ 町田青年会議所
- ・ 白山神社囃子連
- ・ H A T A R A K U 認知症ネットワーク町田
- ・ 多摩丘陵病院
- ・ ロイヤルライフ多摩
- ・ 日本大学第三高等学校/日本大学第三中学校
- ・ 東京国際ゴルフ倶楽部
- ・ 都立小山田緑地

◆具体的な取り組み A 及び B 区域図

- ・ 点在する祠などの
再確認と周知（全域）



- ・ 道路残地を活用
した収穫物販売



- ・ 耕作放棄地の活用



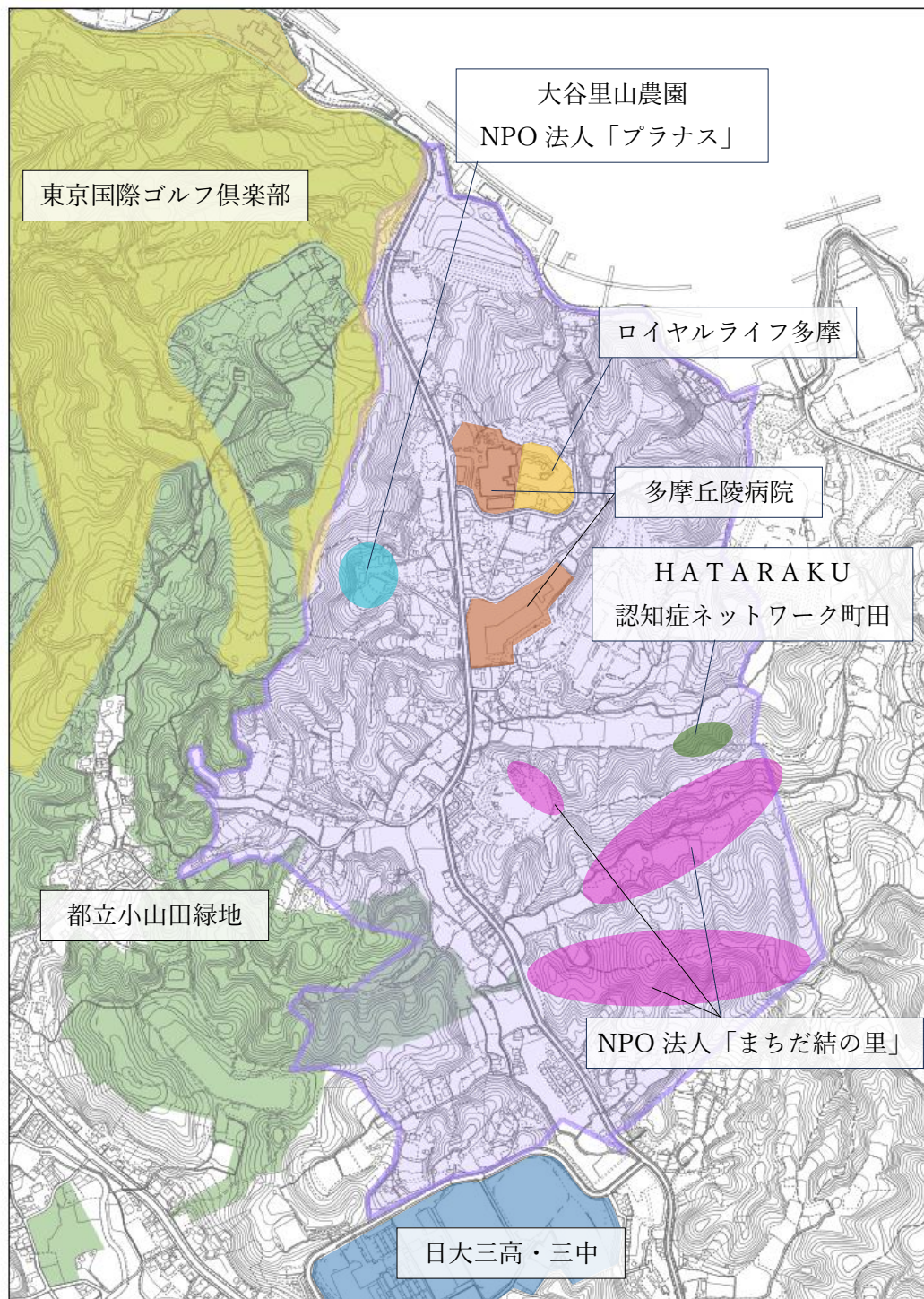
- ・ 東谷戸の竹林整備
・ 筍掘り、竹炭作り、
竹細工



- ・ 白山神社の例祭
・ だんご焼き



◆具体的な取り組み C 地区に関する法人等の位置



【見直しの時期】

まちビジョンは、具体的な取り組みの進捗などを考慮しながら、概ね5年程度で見直しを行います。また、地区の状況が大きく変化した際には、方針等の修正も含めた見直しを行います。

